



本時のねらい 大きくなってきたアサガオについて、葉の大きさや枚数、茎の長さなどの変化に注目しながら観察し、見つけたことや思ったことを観察カードに絵や言葉で表現したり、これまでのアサガオの様子と今の育っている場所を比べながら話し合ったりすることを通して、アサガオの育つ場所に着目し、アサガオの立場になってこれからの育て方を見直すことができるようにする。

評価規準 大きくなってきたアサガオについて、アサガオの育つ場所に着目し、アサガオの立場になってこれからの育て方を見直している。

具体的な児童の姿

- ・お水やおひさま、えいようをしっかりとおあげるために、間引きをしようかな。
- ・ぼくの鉢はこのままで大丈夫そうだから、これからも水やりを頑張りたいな。
- ・間引きした苗は、お家に持って帰って育てたいな。

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 前時の振り返りをし、本時のめあてを確認する。	<p>○前時に今のアサガオの様子を観察したことを振り返り、本時のめあてを確認することで、本時の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>・前時のアサガオの様子とそれ以前のアサガオの様の写真を提示することで、本時に「比べる」という視点を持ちながら話し合えるようにする。</p>	観察カード
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて かんさつしたことをふりかえって、これからのおせわのしかたをかんがえよう。</p> </div>			
10分	<p>2. 観察カードに書いたアサガオの成長について出し合う。</p>  	<p>○アサガオの成長について、観察カードに書いたことを出し合うようにする。</p> <p>・出された気づきを葉と茎に分けて板書にまとめていくことで、それぞれの成長による変化を全体で共有できるようにする。</p> <p>・気づきが出された際、iPad(ロイロノート)に記録に残っていた自分のアサガオの写真でも確認することで、出された気づきが自分のアサガオではなかったかを確認できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈予想される児童の姿〉(比べる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は葉が大きくなかったけど、自分の手の大きさくらいまで大きくなってたよ。 ・葉の数が増えていたよ。 ・茎も伸びていて、鉢の中がぎゅうぎゅうになっていたよ。 </div>	iPad(ロイロノート)

20分	<p>3. これからの世話の仕方について話し合う。</p>	<p>○アサガオの成長による変化をもとに、これからの世話の仕方について話し合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の iPad 𠄎や実物を見ながらアサガオの様子を確認し、アサガオから聞こえてくる声に目を向けさせることで、アサガオの育つ場所である鉢の中に目を向けられるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈期待する児童の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎゅうぎゅうになって苦しいよ」と言っているよ。 ・「もっとお水やおひさまがほしい」と言っているよ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの声や様子を見て思ったことや今後アサガオにどう育てていってほしいか思いを語ることで、アサガオの立場と自分の思いの両面から今後のお世話について考えることができるようにする。 ・これまでに考えてきた必要な世話（水・おひさま）を今後も十分にしていくためには、どうすればよいかという視点から、「間引き」の必要性に気付けるようにする。 ・「間引き」という考えが出ない場合は、アサガオに関する本をもとに「間引き」について提示するようにする。 ・「間引き」をした場合、鉢の中がどうなるかをイメージしやすいように、イラストで可視化するようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈期待する児童の姿〉（見通す）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと大きくなってほしい。しっかりお水とおひさまをあげるために、間引きをしてあげるとよさそう。 ・ぎゅうぎゅうではないときは、もう少しこのままでもよさそう。 </div> <p>◎大きくなってきたアサガオについて、アサガオの育つ場所に着目し、アサガオの立場になってこれからの育て方を見直すことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">〈発言分析〉</p>	<p>iPad (ロイノート)</p> <p>アサガオの植木鉢 (実物)</p>
-----	-------------------------------	--	--

5分	4. 本時の振り返りを行う。	<p>○本時の話し合いをもとに、これから自分がどんなお世話をしたいかを観察カードに書くようにする。</p> <p>・実際に自分のアサガオを観察しながら、「間引き」や水、肥料や太陽といった自分のアサガオに必要なお世話について考え、観察カードに記入できるようにする。</p> <p>※自分がしていきたいお世話を考えることが難しい児童には、板書をもとに話し合いを振り返り、自分の iPad(ロイロノート)の写真実際に自分のアサガオを見ながら、どんなお世話が必要か考えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈期待する児童の姿〉(見通す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お水やおひさま、えいようをしっかりとあげるために、間引きをしようかな。 ・ぼくの鉢はこのままで大丈夫そうだから、これからも水やりを頑張りたいな。 ・間引きした苗は、お家に持って帰って育てたいな。 </div> <p>◎大きくなってきたアサガオについて、アサガオの育つ場所に着目し、アサガオの立場になってこれからの育て方を見直すことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">〈発言分析・記録分析〉</p>	観察カード アサガオの 植木鉢(実物)
----	----------------	---	---------------------------

C1 発表や話し合い

☆一人一台端末の使用は効果的であったか

○前時までのアサガオの成長や変化への気づきを全体で共有する場面（①該当児童の観察記録写真をT Vで拡大提示，②自分のアサガオではどうかを自分の iPad で確認）では，気づきを視覚的にも共有でき，実際に自分のものでも確認できるという点から効果的であったと考える。

▲授業中，児童から「アサガオを見に行きたい」「アサガオと相談したい」という声があがっていた。生活科の特質である「具体的な活動や体験を通して」や「子どもの思いや願いを実現する」ということと成長している生き物（アサガオ）という教材の特質から考えると，今後のお世話について考える際の観察する対象は，iPad の写真よりも，実物であった方が効果的であったのではないかと考える。生活科において，特に成長している生き物と向き合っていく際は，これまでの観察の蓄積として過去のことであれば一人一台端末の活用，今や今後のことであれば実物の方が児童も主体的に学習に向かっている，気づきの質をより高めていけると考える。

